

大宅中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

9年間の
教育目標

みんなとともに学び、たくましく生きる子どもの育成

小中一貫した指導の重点

確かな学力の育成に向けての取組

生徒
自ら課題を見つけ、身につけた学
力を活かして課題を解決できる

- * 進路実現に向けた学力の充実
- * 学びを活かす
- ・発展学習の充実
- ・個性・能力の伸長
- ・自学自習の充実
- * 英語力の発展
- ・場面に応じた実践的なコミュニケーション能力の育成

豊かな心の育成に向けての取組

- * 自己肯定感、自己有用感の確立をめ
げず
- ・自らの生きる意味、自己の存在価値を
考えられる生徒
- ・体験活動を通して、社会の一員として
他者と協力し、自立した生活を営む力を
もった生徒
- ・法やきまりの意義の理解や公德心をも
った生徒

健やかな身体の育成に向けての 取組

- * 自らの心身の健康に関心を持
ち、主体的に健康的な生活を送る
態度の育成。
- * 運動経験の拡大
- * 避難訓練、交通教室等を通し
ての自助共助の理解や危険予知
能力の伸長

小学校から中学校へのなめらかな接続を意識する

中期（充実期）
小5～小6
意欲的に学習できる児童

- * 小中をつなぐ学力の習得・活用
- * 学び方を学ぶ
- ・基礎・基本の徹底
- ・家庭学習の工夫、充実
- * 英語力の基礎
- ・*6つのポイントを意識したコミュ
ニケーションの活用

- * 自己肯定感、自己有用感の高揚を
めげず
- ・他者の視点に対する理解ができる児
童
- ・他者の尊重の意識や他者への思い
やりをもった児童
- ・集団における役割の自覚や主体的
な責任意識をもった児童
- ・規範意識をもった児童

- * 望ましい生活習慣の実践
- * 運動経験の拡大
- * 避難訓練、交通教室等におけ
る安全確保の理解や危険予測と
適切な行動力育成

前期（基礎期）
小1～小4
学習のきまりが分かり、進んで学習
できる児童

- * 基礎・基本の学力の獲得・定着
- * 学びの基盤づくり
- ・読み、書き、計算の習得
- ・基本的生活習慣の確立
- ・家庭学習の習慣づけ
- * 英語力の基盤
- ・*6つのポイントを意識したコミュ
ニケーションの定着

- * 自己肯定感、自己有用感の形成を
めげず
- ・思いやりの心をもった児童
- ・感謝の心をもった児童
- ・相手の気持ちを考える児童
- ・規範意識の基礎となる集団や社会
のルールを守る態度をもった児童
- ・自然や美しいものに感動する心など
をもった児童

- * 早寝・早起き・朝ごはんの実践
- * 遊びを通した運動経験、体力づ
くり
- * 学校生活での安心安全の理解
- * 避難訓練、交通教室等の意義
理解

※6つのポイント

- ① Keep your smile
- ② Eye contact
- ③ With gesture
- ④ Clear voice
- ⑤ Reaction
- ⑥ Active listening

家庭 家庭との連携を推進するため、「家庭学習の手引き」などを用いて、家庭学習の充実を図る。

地域 地域の理解と協力を得た開かれた学校づくり。地域活動への積極的な参加啓発。

基本的な構え 小中学校は、地域・家庭と一体となって児童生徒を育てる